

令和8年

はたち みどり市二十歳の集い～式十祭～

○対象者数：538人 ○出席者数：406人

○地区別出席者数

笠懸：253人、大間々：146人、東：7人

1月11日㊿に笠懸野文化ホールで「みどり市二十歳の集い～式十祭～」を挙行了しました。

☎社会教育課 ☎(76)9846



～運営委員の皆さん～

足立 珠莉さん	五十嵐堅星さん	今泉ひなたさん
恩田 愛香さん	金子 伊美さん	金子 拳士さん
金子 晃也さん	神山 桜愛さん	木戸 七海さん
小舘 咲那さん	小室菜々子さん	斉藤 俊介さん
高瀬 響太さん	津島 大輝さん	中川 希杏さん
藤巻 歩生さん	星野 紅羽さん	前原 愛華さん
前原 瑠乃さん	松島 治貴さん	松島 優介さん
森田 温斗さん	山口 烈斗さん	(五十音順)



夢と希望を胸に

輝かしい未来へ



～二十歳の誓い～



恩田 愛香 さん

これまで支え、見守ってくれた両親や家族、私たち一人一人に真剣に向き合い、時には厳しく、時には温かく導いてくださった先生方、そして悩みや喜びを分かち合いながら、互いに刺激を受け、高め合ってきた仲間存在は、今の私たちの土台になっています。

人生には多くの選択肢があります。迷うこともあるかと思いますが、自分が信じた道を大切に、一度きりの人生を悔いのないよう挑戦し、楽しんでいきたいです。いつか胸を張って「頑張った」「楽しかった」と心から言えるよう、前を向いて歩いていきます。

※内容を要約して掲載しています。

～二十歳の夢～

凛とした大人
になりたい

日本一大きい
ビジネスを
立ち上げたい

強い女性
になりたい

経営者
になりたい

美容師
になりたい





落語と出会い、
苦手だった話すことも得意に

そら
平岡 大空 さん



大間々北小、大間々中を卒業。大学では落語研究会に所属し、高座名は「青海亭銀波」。名前を決める際に自炊したサバのみそ煮を食べていたことが由来で、群馬県民ならではの海への憧れも込めて名付けた。大学1年生の8月に初高座を踏み、2年生ながら4回の公演を経験。

友人宅に行く途中でいつも見ていた、はねたき橋から見る景色が一番好きです。
現在は一人暮らしをして都内の大学に電車です通っていますが、地下鉄なので景色を楽しむことができます。
高校時代に乗っていたわたらせ渓谷鐵道からの

—今どんなことに夢中になっているか—
人前で話すことが苦手だったので克服したいと思いついて、大学で落語研究会に入りました。
最初は落語のことをほとんど知りませんでした。が、続けるうちに面白さが分かり、今ではすっかり夢中になっています。昔の人も今と同じような失敗や勘違いをしていったんだと演じながら気づけるところが落語の面白さだと感じています。
—みどり市での思い出や好きな場所は—
友人宅に行く途中でいつも見ていた、はねたき橋から見る景色が一番好きです。

眺めは、今思うと、ぜいたくな時間だったと思います。
—今後の目標は—
ながめ余興場やはねたき橋からの景色など、みどり市にはすてきな場所がたくさんありますが、まだ市外の人にはあまり知られていないように感じています。自分が育ってきたまちだからこそ、さらに良くなってほしいという思いがあり、大学卒業後は地元に戻って地域に関わる仕事ができたらと考えています。



みどり市と共に歩んだ20年
20歳の「今」と「これから」



みどり市が誕生してから、今年で20年を迎えます。
みどり市と共に成長してきた20歳の皆さんは、今、どんなことに夢中になり、どんな未来を思い描いていますか。
夢に向かって挑戦する人。
好きなことを見つけた人。
将来を見据えて一歩ずつ進む人。
みどり市で育った3人の20歳の「今」と「これから」を紹介します。





プロ選手と大学生の二刀流
今できることに全力で取り組む

森田 蓮^{れん} さん



笠懸東小、笠懸南中を卒業。高校時代はバスケットボール部主将としてチームをけん引。現在は県内の大学に通いながら、3人制プロバスケットボールチーム「MINAKAMI TOWN EXE」の最年少選手として活躍中。キッズ体操やバスケのコーチも務めるなど、一つ一つの出会いに感謝し、人との縁を大切にしている。

バスケットボールを始めたいから大学にも通っている理由は、将来教員になりたいという思いを持っているからです。現在所属しているチームに出会ったことで、バスケットボールを続けながら教員免許の取得を目指す道を選ぶことができました。今振り返ると、この出会いが大きな縁でした。

今後の夢や目標は、まずは、チームとしてリーグ制覇を成し遂げたいです。また、海外リーグを経験したことで海外にも興味があり、現在は英語の勉強にも取り組んでいます。

—みどり市がどんなまちになってほしいか—
自分が子どもの頃はバスケットボールができる場所が少なかったのですが、予約なしで自由に使えるポートリース桐生・みどモストリートパークがあることは、うらやましく感じます。バスケットゴールがある公園などもっと増えたらみんなが気軽にボール遊びできるようになるといいと思います。



恩師のような先生を目指して
友人と共に楽しく学ぶ

足立 珠莉^{みり} さん



あずま小、東中を卒業。教員を目指して大学の教育学部で学ぶ。優しい笑顔と話しやすい雰囲気が印象的。家族のことが大好きと話し、弟が通う学校の運動会の応援に行くなど家族との時間を大切にしている。新しく始めたアルバイトは外国人のお客さんがよく訪れる店で、苦手な英語にも前向きに挑戦している。

—教員を目指したきっかけは—
子どもと接することが好きなので教員になりたいと思います。3人きょうだいの長女として育ったことや小規模校で学年を超えて仲良く過ごした経験がきっかけになりました。通っていた小学校では1年生から6年生までの児童で編成する縦割り班活動を行っていて、その頃から下級生の面倒を見ることが好きでした。

—今後の夢や目標は—
私が小・中学生の時は担任以外の先生とも関わりが深かったので、楽しい学校生活を過ごせました。私も子ども一人一人を大切に、子どもたちにも慕われる先生になりたいです。いつか教師としてみどり市の学校に戻り、これまでの経験を生かせたらと思っています。

—東町がどんなまちになってほしいか—
高齢者や子どもが移動しやすいまちになってほしいです。高齢者が多いまちだからこそ、車がなくとも気軽に外出できるようにしたらうれしいです。また、私も子どもの頃、何か欲しい物がある時に気軽に買い物に行ける場所がなく、親に車を出してもらうしかありませんでした。電車やバスなどの自力で移動できる交通手段が充実したらもっと暮らしやすくなると思います。

